

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： あま市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考			
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標①	目標②
巡回・窓口相談指導事業	小規模等細企業を中心に、職員が事業所へ訪問し、国・県の小規模企業施策の普及利用促進を図るとともに、窓口や巡回相談により経営力向上・経営革新など専門家派遣による支援、融資等の金融相談、申告時期の税務相談、労務相談等企業経営全般について様々な相談指導をすることにより経営基盤の強化を図り、地域経済の安定的発展を目指す。	・巡回窓口指導実企業数 881社 (巡回569社、窓口312社) ・巡回窓口指導延件数 1,468社 (巡回774件、窓口694件) ・課題解決提案件数 40件 ・経営革新計画承認件数 1件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 163.1%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	巡回や窓口指導を通じ、国や県、市から出される各種施策支援等を積極的にを行い、小規模事業者の経営改善支援に努めた。企業診断など、事業者の課題解決提案を行い、経営改善につなげることができた。	総合評価	A	自己評価	A	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も日々変動する経済情勢を注視し、小規模事業者が必要とする支援を迅速かつ的確に提供できるように情報収集に努めることが必要である。引き続き職員間で情報を共有するなど重点的な支援に努めたい。
記帳継続指導	個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導を行い、経理の自計化による計数管理と経営数値の分析による経営力の向上と適正な税務申告に結びつける。	・指導対象者数 142人 ・指導延日数 1,282日 ・指導延回数 2,000回	小規模事業者（個人経営者）	指標	記帳指導延回数 (達成度 74.1%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 %)	適正な帳面管理と税務申告に結びつくよう記帳指導を行い、日頃から計数感覚を養うことができた。また、継続して記帳指導することにより経営数値の分析を行い、経営力の向上に務めた。	総合評価	B	自己評価	B	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	記帳指導は経営指導等その他の指導の端緒ともなる事業であり、適正な決算申告をするために今後も継続して重点的に取り組むことが必要である。
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとっての必要な経営、経理、金融、労働、税務等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と事業運営に資することを目的とする。	・個別講習会開催回数 19回 参加者人数 313人 ・集団講習会開催回数 1回 参加者人数 18人 計 20回 331人	小規模事業者	指標	個別講習会参加者数 (達成度 93.4%)	指標	集団講習会参加者数 (達成度 30.0%)	社会情勢等の影響を鑑み、中止する講習会もあったが、小規模事業者のニーズに沿った講演会を企画・開催することにより、小規模事業者の支援に努めた。	総合評価	B	自己評価	A	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	国や県から出される各種施策を注視し、事業者のニーズに沿った講習会の開催に努める。集団講習会については、来年度以降、確実に実施が予定される回数のみ実施計画に組み入れるため、目標数値を引下げる。
青年部・女性部事業	青年部・女性部での交流や社会活動を通じて地域とかかわりを持つことにより、地域社会の発展に寄与するとともにこれからの地域社会を担う人材を育てる。	・青年部事業各種事業参加人数 9人 ・女性部事業各種事業参加人数 7人 5人	青年部員 女性部員	指標	青年部事業の回数 (達成度 99.0%)	指標	女性部事業の回数 (達成度 107.1%)	各種事業の企画、運営を通じて企画力や事業遂行能力など青年経営者として必要な資質を身につけることができた。また、商工業に携わる女性として必要な教養、資質の育成につながった。	総合評価	A	自己評価	A	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今年も従来どおり事業を実施し、より良い青年経営者づくりと経営者夫人としての必要な教養育成に努める。
部会・委員会事業	商業・工業などの各部会活動をを行い、部会参加企業の発展に資することを目的とする。	部会事業等参加者 ・メッセナゴヤ出展 5事業所 ・市町村フェア 1事業所	商業・工業部 会員	指標	講演会等参加者人数 (達成度 30.0%)	指標	達成度 %	工業部会では、メッセナゴヤへの出展事業所を募り、販路開拓の一助となった。商業部会では、ジブリパークで開催された市町村フェアに出店する事業所を募り、出店の支援にあたった。	総合評価	C	自己評価	B	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	本年度は参加できる事業所数が少ない事業を対象としたため、実績数値が低い結果となった。来年度も同数程度が見込まれるため、目標数値を引下げる。
福利厚生事業	一年に一回健康診断を受けることが法で義務付けられており、小規模事業者等においては、受診する機会が少ない。そこで、商工会が主体となり、受診機会を提供することにより健康増進をし、安定的な企業経営を促進することを目的とする。	開催回数 6回 参加事業所数 70事業所 参加者数 351名	委託事業所数	指標	参加事業所数 (達成度 70.0%)	指標	達成度 %	小規模事業者及びその従業員を対象とした健康診断を実施し、健康維持増進と安定的な企業運営の充実に寄与した。	総合評価	B	自己評価	C	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	会員事業所への福利厚生事業として毎年実施しており、健全な企業を育てるためにも重要な事業である。参加事業所が減少傾向にあるため、目標数値を引下げる。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： あま市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考						
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等					
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標①	目標②			
労働保険事業	事業主の委託を受けて、労働保険料の申告納付その他の労働保険、一人親方に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、中小事業主の事務の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	委託事業所数 187事業所	小規模事業者	指標	委託事業所数 (達成度 93.5%)			指標	(達成度 %)			得られた効果	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	廃業や委託解除等により委託事業所数が減少しており、今後も減少すると思われる。労働保険制度説明及び加入促進を行い、委託事業所数の確保に努めたい。
青色申告会・法人会事業	法人部会・青色申告部会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事務運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化に資することを目的とする。	・青色申告部会 事業参加人数 12名 ・法人部会 事業参加人数 12名	小規模事業者	指標	事業参加者数 (達成度 24.0%)			指標	(達成度 %)			青色申告部会では、個別税務相談会を開催し、事業者支援につながった。法人部会では、税務研修会を開催し、インボイス制度や電子帳簿保存について教養を深めることができた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	本年度を以って法人部会が解散となるため、それに合わせて来年度の目標値を変更する。
地域産業活性化事業（イルミネーション事業）	イルミネーション事業で取付作業を地域住民（小規模事業者を含む）とともに進め、事業を行うことと作り上げることの感動を分かち合うことにより地域住民の地域離れを防ぎ、地域の活性化に結びつく。また地域住民、小規模事業者、商工会の連携を強化できる。	取付作業期間 令和4年9月～点灯式前日 点灯期間 令和4年11月26日（土）～令和5年1月4日（水） 点灯期間 午後5時～午後10時 来場者数 不明	小規模事業者及び市民、近隣市町村住民	指標	来場者数 (達成度 - %)			指標	(達成度 %)			3年ぶりにイルミネーション点灯式を開催し、地域の魅力を広く市内外に発信する場を提供したほか、会員事業所並びに地域住民とともに創り上げることで地域貢献や商工業発展の一助となり、地域連携強化と活性化に繋がった。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	これまで指標を来場者数としていたが、適正な数値を算出することが困難なため、来年度からは点灯式での出席者数を指標として変更し、事業者の事業発展に繋げたい。
若手後継者育成事業	若手後継者の資質向上及びコミュニケーション能力向上を図るため、講演会を開催する。また、青年部長を始めとする青年部幹部が青年部全国大会・交流会等へ積極的に参加し、若手経営者としてのスキルを身につける機会を創り、青年部員全体の資質向上を図る。青年部活動の認知度が低く、周知活動が行き届いていない現状を鑑み、部員増強委員会を開催するなど、周知活動を積極的に実施し、新部員の加入促進を行う。	研修会 9月16日（金）開催 満足度調査 満足度 100% 参加者人数 19名 主張発表大会 11月15日～16日開催 参加者人数 3名 新部員加入促進 部員増強委員会 毎月 新部員加入	小規模事業者	指標	満足度（講習会） (達成度 142.9%)			指標	参加者人数（講習会） (達成度 63.3%)			青年部員の資質向上を図るため、コミュニケーションに関する研修会を開催し、非常に満足度の高い研修となった。主張発表大会に参加し、各ブロックを代表する事例を傾聴することで若手経営者としてのスキルアップの一助となった。青年部員募集チラシの配布や情報誌への掲載を通じ、部員増強に努め、7名の新部員の加入につながった。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も青年部員等のニーズに合った講習会や研修会を開催することで、満足度の高い内容となるよう検討していきたい。定年等により部員が減少していく中、円滑に事業継承するためには青年部活動PRが必要のため、継続して部員増強委員会を開催し、新部員の加入につながるよう努めていきたい。
地域産業活性化事業（新規創業者発掘・支援）	新規創業等を志す方々の支援の一環として、あま市内の空き家・空き店舗等の情報照会・斡旋することで、あま市内の商工業の活性化を目的とする。	特定創業支援 2事業所	小規模事業者	指標	斡旋事業所数 (達成度 40.0%)			指標	(達成度 %)			新規創業支援として、あま市特定創業支援事業を活用し、事業者支援することができた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	あま市の特定創業支援事業や空き店舗等活用創業支援事業について、あまり周知が図られていない現状にある。あま市と連携し、さらなる活用につなげたい。
地域振興事業（商工祭事業）	あま市内の事業所に企画、出店してもらい、来場者へPRすることにより新規顧客獲得及び地域の活性化に繋げることを目的とする。	商工祭 開催中止	小規模事業者	指標	出店企業数 (達成度 - %)			指標	(達成度 %)			本年度は商工会設立10周年事業に加え、新たに設立したミドルエイジ委員会によるAMAフェスを開催したことにより、商工祭の開催を中止することとなった。	総合評価	-	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	来年度は商工祭の開催を検討しているが、実施内容や日程等は未定であり、明確な目標値をあげられないことから、昨年引き下げた目標設定することとする。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。